

平成24年度

岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

(平成23年度事務事業対象)

平成25年3月

岩出市教育委員会

はじめに

岩出市教育委員会では、第2次岩出市長期総合計画に掲げたまちづくりの基本方針である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、学校教育の充実並びに青少年健全育成、生涯学習・スポーツの推進及び文化・芸術の振興に努めてまいりました。

また、平成23年度の重点目標として「生きる力を育む人間力の育成」を掲げ、重点目標の推進に当たっては、家庭や地域社会との連携協力を図りながら、取り組んでいるところです。

本報告書は、本市教育委員会の課題や、今後の取り組みの方向性を明らかにし、教育行政の一層の推進を図るとともに、市民から信頼される市教育行政を推進するため、平成23年度に実施した事務事業の点検評価をまとめたものです。

点検評価の結果を踏まえ、よりよい教育の実現を目指し、教育行政の充実に努めて参ります。

平成25年3月

岩出市教育委員会

目 次

| | | |
|-----|----------------------------------|----|
| I | 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について | |
| 1 | 点検・評価の経緯 | 1 |
| 2 | 点検・評価方法について | 1 |
| 3 | 教育委員会評価委員 | 1 |
| 4 | 教育委員会事業の概要 | 2 |
| | 【教育総務課】 | |
| | (1) 豊かな学力の育成と体力の向上 | 2 |
| | (2) 安全・安心な教育環境の整備・充実 | 3 |
| | (3) 安全・安心な地産地消の学校給食の充実と徴収率の向上 | 5 |
| | 【生涯学習課】 | |
| | (1) 青少年の健全育成 | 5 |
| | (2) 生涯学習の推進 | 5 |
| | (3) 文化・芸術の振興 | 7 |
| II | 各課の事業に対する点検評価の結果について | |
| 1 | 点検評価結果 | |
| | 【教育総務課】 | |
| | (1) 学校教育の充実 | 8 |
| | (2) 子育て環境の充実 | 11 |
| | (3) 国際交流の推進 | 11 |
| | 【生涯学習課】 | |
| | (1) 青少年の健全育成 | 12 |
| | (2) 生涯学習の推進 | 13 |
| | (3) 文化・芸術の振興 | 15 |
| | (4) 人権尊重の推進 | 16 |
| 2 | 教育委員会事務評価一覧表 | |
| | 【教育総務課】 | |
| | 事務事業評価一覧表 | 18 |
| | 【生涯学習課】 | |
| | 事務事業評価一覧表 | 22 |
| III | 関連資料 | |
| | ○平成23年度教育委員会事務評価に関する意見書の提出について | 27 |
| | ○岩出市教育委員会外部評価委員会設置要綱 | 30 |

I 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

1 点検・評価の経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、PDCA のマネジメントサイクルの確立をすべく、平成23年度における岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価について第2次岩出市長期総合計画に基づき実施した事業のうち、主な34事業について点検・評価を実施した。

2 点検・評価方法について

点検・評価の方法については、教育総務課、生涯学習課の2課で各事業をその目的ごとに、施策としてまとめ、施策単位で評価を実施した。

評価については、4段階（a期待以上、b期待どおり、cやや下回る、d期待以下）の基準を設けた。

評価の今後の方向性については、「廃止」、「見直し」、「完了」、「継続」の4つの方向性の基準を設けた。

点検・評価の報告書については、平成25年2月25日と3月6日、2回の教育委員会評価委員会を開催し、本市の教育に関し学識経験を有する方々に意見、助言をいただき、確認のうえ取りまとめた。

各事業については、平成23年度教育委員会事務事業評価一覧表のとおりである。

3 教育委員会評価委員

| 氏 名 | 職 名 | |
|-------|------------------|------|
| 藤井 均 | 岩出市元校長・社会教育委員 | 委員長 |
| 富永 茂郎 | 岩出市青少年育成市民会議本部委員 | 副委員長 |
| 山田 恭央 | 岩出市公民館運営審議会委員長 | |

4 教育委員会事業の概要

岩出市教育委員会では、第2次岩出市長期総合計画の基本方針である「活力あふれるまち ふれあいのまち」を目指し、その実現のために「学校教育の充実」「青少年の健全育成」「生涯学習の推進」「文化・芸術の振興」「国際交流の推進」「人権尊重の推進」を主要施策として掲げ、教育総務課、生涯学習課の2課において各事務事業を実施した。

教育総務課においては、「(1)豊かな学力の育成と体力の向上」、「(2)安全・安心な教育環境の整備・充実」、「(3)安全・安心な地産地消の学校給食の充実と徴収率の向上」の3つの項目を重点事業として実施した。

(1) 豊かな学力の育成と体力の向上

(ア) 学力・体力向上対策実践事業

「学力・体力向上対策実践事業」としては、「適応指導教室事業」、「確かな学力育成のための実践研究事業」、「外国青年招致事業」、「いわでアスリートクラブ事業」を実施した。

「適応指導教室事業」では、嘱託学校教育指導員2名を配置し、心理的要因等により学校生活に適応できず登校できない児童・生徒に対する教育相談や、指導員と担任教師が連携をとることにより、在籍校への復帰を図っている。

教室では児童・生徒の個々の立場に立ち、相談及び適応指導を行っている。

平成23年度では、入室が中学生4名と少数であったが、学力の定着と基本的な生活習慣が身につく、心の安全を図ることができた。

また、4名全員が普通高校へ進学した。

「確かな学力育成のための実践研究事業」では、山崎小学校を算数研究の拠点校として（研究指定2年目）、岩出小学校を「言語活動の充実」研究の拠点校として（研究指定1年目）指定し、市内各小・中学校と連携しながら、子どもの確かな学力を育成している。

その結果、山崎小学校では、わかりやすい授業のための教具が開発され、子どもの学習意欲や思考力に高まりがみられ、岩出小学校では、教職員が熱心に研究に取り組み、ハンドサインを活用した挙手による意見交換など、先進的な取り組みが行われた。

他の小学校4校については、それぞれの特色を生かした自主研究を実施し、

子どもの実態に応じた取り組みを推進し、学校間でその取り組みの交流を行っている。

「外国青年招致事業」では、中学校においては、平成24年度の新学習指導要領から英語授業が現行の週3回から4回になり、ますます英語教育が重要な教科になる。

特に聴く・話すが必要なことから、英語教育や国際理解の充実に寄与した。

「いわでアスリートクラブ事業」では、陸上競技を通じて、児童・生徒の心身の健全育成が図られた。

登録者は、岩出市内の小学3年生から中学3年生を対象に198名

(イ) 就学援助費補助事業

「就学援助費補助事業」においては、「特別支援教育就学奨励費扶助事業」、「要保護、準要保護児童・生徒扶助事業」を実施した。

「特別支援教育就学奨励費扶助事業」では、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童・生徒用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、就学の援助を行い経済的な負担軽減を図った。

小学校では42名、中学校では9名に対し、特別支援教育就学奨励費扶助事業を実施した。

「要保護、準要保護児童・生徒扶助事業」では、経済的理由によって就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童・生徒用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、就学の援助を行い経済的な負担軽減を図った。

小学校では459名、中学校では332名に対し、要保護、準要保護児童・生徒扶助事業を実施した。

(2) 安全・安心な教育環境の整備・充実

「教育環境の整備事業」としては、「小・中学校施設改修事業」による施設の充実と「学校図書システム整備事業」、「ブロック塀等耐震化補助事業」、「小・中学校教材教具等の整備」による教育環境の充実に寄与した。

「小・中学校施設改修事業」では、小・中学校の補修工事、環境整備工事及び通学路整備工事を実施した。

小学校の補修工事については、岩出小学校では校内転落防止柵設置工事を実施した。

その他、山崎小学校では屋内運動場放送設備工事、屋外階段屋根設置工事、山崎北小学校では駐車場整備工事、牛乳保冷库取替工事、根来小学校では普通教室改修工事、正門改修工事、普通教室増設工事、上岩出小学校では音楽室床改修工事、屋上防水工事等の工事を実施した。

また、中学校の補修工事については、岩出中学校では普通教室床改修工事、校内整備工事、給食配膳室増設工事、岩出第二中学校では防球フェンス設置工事等の工事を実施した。

環境整備工事については、音楽室や特別支援教室等に空調設備を、また、全ての小・中学校の普通教室に扇風機を設置し、児童・生徒の学習環境の改善につとめた。

また、通学路整備工事については、岡田地区外通学路整備工事他4件の工事を実施した。

以上の事業を行った結果、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保が図れた。

「学校図書システム整備事業」では、学校図書の管理、貸し出しをスムーズに行い、子どもの読書活動を促した。

平成22年度3月補正で国の補助事業として採択され、繰越事業として岩出小学校、根来小学校、上岩出小学校、岩出中学校、岩出第二中学校について、一括して整備を行った。

「ブロック塀等耐震化補助事業」では、ブロック塀の撤去、軽量塀設置の補助を行ったことにより、児童・生徒をはじめとする通行人の安全が確保できた。

「小・中学校教材教具等の整備事業」では、平成23年度からは小学校で、平成24年度からは中学校で完全実施される新学習指導要領により、新たに授業で必要となる教材・教具の整備や図書の購入を行った。

児童・生徒用図書の購入については、小学校では2,781冊を購入し、蔵書数が77,925冊となり、また、中学校では1,793冊を購入し、蔵書数が37,440冊となり、文部科学省の「学校図書館図書標準」による「標準冊数」小学校66,760冊、中学校33,600冊を小・中学校とも充足して

いる。

(3) 安全・安心な地産地消の学校給食の充実と徴収率の向上

「学校給食運営事業」では、児童・生徒に栄養バランスのとれた安全で安心な給食を提供し、心身の健全な育成を図ることを目的に、地産地消の推進を図り、安全で新鮮な食材の活用を図った。

また、円滑な学校給食運営を推進するため、給食費の滞納者に対しては、和歌山簡易裁判所に支払督促申立による債権差押や学校との連携を一層強化するとともに、子ども手当からの徴収や、夏季・冬季徴収、電話催告や随時の臨戸徴収を行い、徴収率の向上に努めている。

次に、生涯学習課においては、「(1) 青少年の健全育成」、「(2) 生涯学習の推進」、「(3) 文化・芸術の振興」の3つの項目を重点事業として実施した。

(1) 青少年の健全育成

青少年の健全育成においては、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、市民の意識の高揚と自主的な活動、青少年の健全育成を目的とした各種団体との連携を図り、子どもを守るネットワークの構築や、見守り活動の強化及び防犯カメラの活用により、犯罪の起こりにくい環境づくりに寄与することができた。

また、「あいさつ運動」により、地域の方々との交流を通じて安心して登下校ができた。

「岩出市補導委員会」の活動の一環として、青少年を取り巻く環境浄化を図るため、ゲームセンターや大型店舗での非行防止活動を実施した。

「岩出駅周辺環境浄化パトロール」では、各種関係団体等の連携により、駅前での清掃作業や下校時の生徒に声かけ運動を実施した。

「青少年センター」においては、青少年非行の早期発見、早期補導、その他青少年の不良化防止活動を有効かつ適切に行い、学校・警察・各種団体と連携を密にし、青少年健全育成のため取り組んだ。

(2) 生涯学習の推進

生涯学習の推進においては、子どもから高齢者まで、一人ひとりが個性や能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を送るため、学習機会の提供と環境づくりを行った。

放課後子ども教室推進事業においては、市内6小学校79教室で、232回開催し、延べ7,452名が参加した。

公民館文化教室では、15講座で、延べ324名が受講し、知識や技術を身に付けるだけでなく、ともに学習する仲間として、人と人との結びつきを深めることができた。

成人講座では、9講座で、延べ687名が受講し、現在社会が抱える課題を教材として学習し、相互のふれあいと交流を深め、地域社会の発展に寄与することができた。

公民館フェアでは、公民館文化教室及び公民館利用サークルによる日頃の成果発表を通じて、人々の出会い・ふれあいの機会をつくり、公民館活動や文化活動に対する理解と関心を深めることができ、コンサートに11団体、223名、ギャラリーに16団体、277名が参加した。

公民館においては、市民の高まる学習意欲やニーズに対応した生活に役立つ学習、文化的な学習、地域に貢献できる学習等の教室や講座を実施した。

事業としては、

- (ア) 文化教室等による文化活動の成果を発表する場として、公民館フェアの開催。
- (イ) 市民の方を対象とした文化教室として、書道教室、英会話教室、韓国語教室等を開催。
- (ウ) 成人講座として、行政講座や歴史講座等を開催。
- (エ) パソコン教室の開催。
- (オ) 子どもを対象とした夏・冬の子ども講座として、お菓子教室等を開催。
- (カ) 高齢者を対象としたふれあい学級として、歴史講座や健康教室等を開催。

スポーツ事業として、市民運動会では9,882名の参加があり、市民のスポーツ振興と、レクリエーションの普及や健康増進を図り、市民相互のふれあいと交流を深める機会を提供することができた。

岩出マラソン大会では、2,383名の参加があり、市外からの多くの参加者に対して岩出市を広くPRすることができ、また、参加者間の交流により互いに触れ合うことができ、有意義な大会であった。

競技力の向上と育成、活動の活性化を図るため、スポーツ少年団や体育協会等への補助や、全国大会等に出場する選手に補助することで、生涯スポーツの振興と青少年の健全育成等に寄与することができた。

全国大会は10件、近畿大会は6件、県大会は11件で、合計27件の補助を行った。

(3) 文化・芸術の振興

文化・芸術の振興においては、多種多様な芸術・文化に触れる機会の提供、また、図書館事業や民俗資料館事業の充実に努め、文化財や文化的資源を保護・活用し、伝統的行事や民俗芸能の伝承を促進し、文化・芸術の振興を図った。

図書館利用促進事業として、各種のイベント事業、講演会、DVD上映会等を開催することにより、市民の図書館に対する理解と関心を深め、利用促進が図られた。

平成23年度の入館者数は、岩出図書館及び分館・分室合わせて207,088名、蔵書数は、231,964冊、貸出冊数は、357,556冊、登録者数は、23,756名であった。

今後も、地域密着型図書館として、市民の身近にあって、「いつでも、どこでも、誰にでも」図書館サービスが受けられるよう努める。

民俗資料館においては、市民からの歴史・文化についての学習に対するニーズに答えるとともに、次代を担う小・中学生や、若い世代の方にも郷土の歴史文化を学ぶ機会を提供した。

秋季企画展や歴史講座では、多くの方に市の歴史や文化に関心と理解が得られ、また、体験学習では親と子のふれあい及び児童間の交流も図ることができた。

なお、秋季企画展では、入館者数は7,016名で、記念講演では50名の参加があり、歴史講座は2回開催し、合計で183名の参加があった。

今後も、岩出の歴史、文化、観光の中心地として関心が高い根来寺の豊かな自然と歴史文化の活用・保全を図っていきます。

伝統工芸の伝承や民俗芸能等の調査・保存に努め、指導者や後継者の育成を図り、伝統文化や文化遺産の保存・継承を促進します。

全国子守唄サミット&フェスタでは、子守唄の保存・継承に努めている全国の加盟団体（7団体）と交流を深めることができ、根来の子守唄を全国に発信することができた。

平成23年度は、熊本県五木村で開催され、根来の子守唄保存会と根来鉄砲隊が参加した。

Ⅱ 各課の事業に対する点検評価の結果について

1 点検評価結果

【教育総務課】

(1) 学校教育の充実

〔基本方針〕

生涯にわたる人間形成の観点から生涯学習の基礎を培い、豊かな心と多様な社会環境に適応できる能力を持った児童・生徒の育成に向けて、教育施設や教育内容の充実を図る。

また、「生きる力」を育むため、個人の尊厳と個性の尊重という基本的な考えに立ち、一人一人の能力と個性に応じた教育実践に努め、家庭や地域との連携による指導の充実などを行う。

〔平成23年度の主な取組状況〕

- いわでアスリートクラブ事業では、陸上競技を通じて、児童・生徒の心身の健全育成に努めた。
実施回数：39回 登録者数：198名
実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園
- 適応指導教室事業では、学校や関係機関と連携を図り、児童・生徒の在籍校への復帰に努めた。
入室生徒数：中学生4名、延べ日数268日
相談来所者：9名 電話相談件数：2件 訪問件数：4件
- 小・中学校の補修工事については、優先順位により計画どおり事業を実施し、児童・生徒の安全確保に努めた。
- 児童の読書環境の充実強化を図るため、小学校3校、中学校2校に学校図書システムを導入し、子どもたちの読書を促すことに努めた。
岩出小学校、根来小学校、上岩出小学校、岩出中学校及び岩出第二中学校に、それぞれパソコン1台、プリンタ1台、設置台、ソフト導入及びウイルス対策を行った。
- ブロック塀等耐震化補助を行い、倒壊による事故を未然に防止でき、児童・生徒をはじめとする通行人の安全の確保ができた。
ブロック塀等撤去件数 1件、軽量塀等設置件数 1件

- 児童携帯用防犯ブザーを補助し、登下校時の危険防止に努めた。
175名分を補助 申請率30%
- 授業における実践研究を行うことにより、教職員の資質向上を図り、児童・生徒の確かな学力の育成に努めた。
山崎小学校（2年目）算数科 岩出小学校（1年目）言語活動の充実
他の4校は、それぞれの特色を生かした自主研究を実施
- 緑育推進「元気な森の子」事業については、自然と触れ合う機会が減少している子どもたちに、森林体験等を通して貴重な体験ができた。
参加児童数：651名 場所：日高川町 日高川ふれあいドーム
- 特別支援教育の就学奨励費扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。
小学校：42名 中学校：9名
- 要保護、準要保護児童・生徒扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。
小学校：459名 中学校：332名
- 事業所の協力により、職場体験を実施することができた。
岩出中学校 2年生 302名 79事業所
岩出第二中学校 2年生 261名 77事業所
- 授業の一環として中学校の防災訓練を実施した。また、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成を行った。
防災訓練
岩出中学校3年生 287名 岩出第二中学校3年生 299名
防災ジュニアリーダー 24名参加
岩出市地域防災訓練 14名参加
- 私立幼稚園の就園奨励費補助事業を実施することにより、保護者の負担軽減が図られた。
11園に私立幼稚園就園奨励費補助金を交付
- 学校給食については、児童・生徒に栄養バランスの取れた安全で安心な給食の提供に努めた。また、給食費の徴収率向上が図られた。
地産地消の推進 旬の野菜34品目使用 地産地消率77.2%
徴収率（現年度）98.91%

〔総合評価〕

- ◎ 学校教育の充実については、14事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」が1事業、「期待どおり」が11事業、「やや下回る」が2事業と評価し、今後の方向性は「継続」が13事業、「完了」が1事業とした。

- いわでアスリートクラブ事業については、登録者も多く成果が上がっているが、中学生は、部活動の練習と重なり参加者が少なく見直しが必要である。また、指導者の確保に努める必要がある。
- 適応指導教室事業については、依然、入室困難な児童・生徒がいるため、学校、家庭及びスクールカウンセラーや他機関との連携強化を更に図っていく必要がある。
- 小・中学校施設改善事業については、補修工事、環境整備工事の実施により、教育環境の整備や安全確保が図られたが、通学路の危険箇所については、更に安全確保に取り組んでいく必要がある。
- ブロック塀等耐震化補助事業については、児童・生徒の安全確保を図るため必要な事業であり、今後も地域住民への周知に努めていく必要がある。
- 確かな学力育成のための実践研究事業については、子どもの意欲や態度に改善の兆しがみられるが、数値的な成果による検証が必要である。
- 学校給食運営事業については、円滑な給食運営を推進するために、支払督促申立てによる債権差押や学校との連携を一層強化するとともに、児童手当からの徴収等で収納率の向上に努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- いわでアスリートクラブ事業については、参加者は、着実に陸上の競技力が身につく、成果が上がっているため、大変有意義な取り組みであるが、中学生の参加者が少ないので、小学生のみに改正する方がより成果が上がるのではないかと。今後、指導者の確保に努め、継続して実施してもらいたい。
- 適応指導教室については、入室者が少数であるため、今後は、学校、家庭及びスクールカウンセラーとの連携をさらに強化し、取り組んでもらいたい。
- 小・中学校施設改修事業については、学童が登下校時事故に巻き込まれる案件が発生しているが、今後危険箇所については、教育委員会、学校、道路管理者及び警察と協議し改善に取り組んでもらいたい。
- ブロック塀等耐震化補助事業については、補助申請が1件と少ないことから、補助内容の充実が必要では、また、児童・生徒の安全確保を図るため必要な事業であることから、地域住民への周知徹底が必要である。
- 確かな学力育成のための実践研究事業については、今後も更なる指導方法の改善に取り組み、研究指定校だけでなく、自主研究校についても、学力向上に努めてもらいたい。
- 学校給食運営事業については、円滑な学校給食運営を推進するためよく

取り組んでいる。今後も、支払督促申立による債権差押えや学校との連携を一層強化するとともに、児童手当からの徴収に取り組んでもらいたい。

(2) **子育て環境の充実**

〔基本方針〕

地域子育て環境の充実については、児童の健全育成を図るため、家庭と地域社会が一体となった良好な社会環境づくりに努める。

学童保育については、各地区での実施に向け、保育時間や指導員の体制作りに努める。

〔平成23年度の主な取組状況〕

- 共働き世帯を対象に、放課後において子どもの居場所づくりのための事業として、シルバー人材センターに委託し、放課後児童健全育成事業（学童保育）を実施した。

市内6ヶ所（7教室）で実施

小学校1年生から3年生対象

〔総合評価〕

- ◎ 子育て環境の充実については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。
- 放課後児童健全育成事業については、放課後の健全育成が図れるため、効果が高くより一層の充実に努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 放課後児童健全育成事業については、共働きの保護者から大変喜ばれており、今後も子どもの居場所づくり事業として、より一層の充実に努められたい。

(3) **国際交流の推進**

〔基本方針〕

情報提供サービス等の充実に努め、民間による国際交流・地域ぐるみの国際交流を推進するほか、住民ボランティアの育成を図るなど、住民参加型の国際交流を展開する。

〔平成23年度の主な取組状況〕

- 外国の青年を英語指導助手として招致し、中学校で英語教育を実施した。岩出中学校、岩出第二中学校に2週間ごとに英語授業の助手として勤務。

〔総合評価〕

- ◎ 国際交流の推進については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 外国青年招致事業については、英語教育や国際理解の充実に大きな役割を果たすことから、今後も継続した実施が必要である。

〔外部評価委員の意見〕

- 外国青年招致事業については、英語教育や国際理解教育の充実に大きな成果を果たすことから、今後も継続実施に努めてもらいたい。

【生涯学習課】

(1) 青少年の健全育成

〔基本方針〕

青少年各団体の活動の充実と各組織との連携の強化に努め、家庭・学校・地域及び行政がそれぞれの果たす役割を明確にし、青少年を取り巻く様々な問題について取り組み、子どもの育つ環境を守るとともに、地域社会を形成している大人に対しても、青少年の健全育成に対する重要性や意識の向上に努める。

〔平成23年度の主な取組状況〕

- 青少年が心豊かに成長することを願い、青少年の健全育成の一環として、「青少年育成市民会議」を始め、各組織の強化・充実に努めた。
- 「あいさつ運動」、「ごみ集め運動」、「子ども安全パトロール隊」などの活動を通じて、青少年の取り巻く環境の安全確保を図った。
- 青少年センターでは、青少年の健全育成及び非行防止として、不良行為の早期発見、早期指導、補導活動、少年相談、立ち直り支援などに努めた。

〔総合評価〕

- ◎ 青少年の健全育成については、2事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」、「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」であり、今後も、学校・警察・青少年センター及び家庭・地域関係団体等が行政と一体となって、青少年が健やかに育つ環境づくりに努める。

〔外部評価委員の意見〕

- 青少年育成市民会議助成事業については、岩出市においても少子高齢化が進んでおり、あいさつ運動等の活動を担ってくれる地域ボランティアの確保に努めてもらいたい。

(2) 生涯学習の推進

〔基本方針〕

市民一人ひとり生きがいを持って、人生を送ることのできる活力あるまちづくりを進めるため、学習者の主体性を尊重し、「いつでも、どこでも、誰でも学べる」、「共に生き、共に学ぶ」ことができる環境づくりに努める。

〔平成23年度の主な取組状況〕

- 放課後子ども教室推進事業については、子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、小学校の空き教室等を利用して、地域の方々の参画を得て、学習活動・文化活動を通して、地域住民との交流活動に取り組んだ。

6小学校で79教室、参加児童延べ人数は7,452名の参加

- 公民館事業については、市民一人ひとりが生涯学習の各過程において、適切に学習できる「場」と「機会」を提供し、あらゆる世代に親しまれる公民館活動を実施した。

文化教室は、16講座、受講者数は延べ324名の参加。

成人講座は、9講座、受講者数は延べ687名の参加。

ふれあい学級は、11講座、受講者数は延べ1,597名の参加。

パソコン教室は、4教室、受講者数は78名の参加。

家庭教育学級は、10か所（保育所（園）、幼稚園）受講者数は848名の参加。

公民館フェアは、コンサート11団体で223名の参加。

ギャラリー16団体で277名の参加。

- 民俗資料館体験学習事業については、小・中学生歴史ウォーク体験学習として、根来寺歴史散策と周辺の自然環境を体験した。

参加者数は、41名。

- 生涯学習振興事業については、文化祭の前夜祭として、生涯学習を考えるつどいコンサートを実施した。

ピアノソロとアンサンブルコンサートを実施し、440名の参加。

- 負担金・補助金事業については、市民の健全な体育及びレクリエーションの振興、青少年の健全育成のため、補助金を交付した。

- 市民運動会事業については、市民のスポーツ振興とレクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係を育むと共に、明朗・活発な人間育成のため実施した。

参加者数は、9,882名

- 岩出マラソン大会実行委員会助成事業については、参加者に健康と体力づくりのため、生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広くPRすることを目的に開催した。

参加者数は、2,383名

- スポーツ教室事業については、市民のスポーツ振興を図り、健康で明るいまちづくりを推進する事を目的に実施した。

親子教室は、133組で266名の参加。

ヨガ教室は、54名の参加。

エアロビクスは、66名の参加。

- 大会等派遣事業については、スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助した。

全国大会は10件、近畿大会は5件、県大会は11件の計26件。

〔総合評価〕

- ◎ 生涯学習の推進については、10事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」が3事業、「期待どおり」が7事業で、今後の方向性は「継続」が10事業とした。今後とも教室や講座等の事業の必要性や有効性等を常に

検証しながら事業展開を図っていく必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 公民館事業については、参加者へのアンケートの結果を反映した改善を行うとともに、市民ニーズに対応した教室の開催に取り組んでもらいたい。
- 民俗資料館体験学習事業については、より多くの小中学生に参加いただくため、学校へのチラシ配布はもとより、幅広く参加を呼びかけてもらいたい。
- スポーツ教室事業については、市民の健康維持増進やふれあいに役立っており、今後も多くの方に参加いただけるよう創意工夫してもらいたい。
- 大会等派遣事業については、紀の国わかやま国体の開催も控えており、選手の競技力の向上を図るためにも、より制度を活用してもらいたい。

(3) 文化・芸術の振興

〔基本方針〕

多種多様な芸術・文化に触れる機会を充実させるとともに、文化団体の育成など地域文化活動の支援に努める。

図書館では、市民の多様なニーズに対応できるよう様々なジャンルの資料を取り揃え、本館と分館・分室のネットワーク化により、「いつでも、どこでも、誰にでも」図書館サービスが受けられるように、地域密着型図書館運営に努める。

また、文化財等や文化的資源の保護・活用を図り、伝統的行事や民俗芸能の伝承を促進し、文化・芸術の振興に努める。

〔平成23年度の主な取組状況〕

- 文化祭事業については、市民の文化活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興と普及を図り、参加を通じて文化への理解を深め「活力あふれるまち ふれあいのまち」づくりを目的に開催した。
参加人数は19,371名。
- 企画展開催事業については、市民の歴史・文化に関心と理解を深めていただくことを目的に開催した。
秋季企画展の入館者数は、7,016名

記念講演の参加者数は、50名

- 図書館利用促進事業については、様々なイベントや講演会を開催し、図書館利用促進を図った。

入館者数は、207,088名

貸出冊数は、357,556冊

登録者数は、23,756名

〔総合評価〕

- ◎ 芸術・文化の振興については、4事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が3事業、「やや下回る」が1事業で、今後の方向性は「継続」とした。
- 文化祭については、出品数が減少しており、多くの市民に出品いただけるよう、企画・運営等協議し、幅広く参加できるよう努める。
- 秋季企画展については、歴史的資料を取上げた企画展示をし、記念講演については、多くの方々に参加していただくため、関係団体や文化協会等への周知を図り、啓発活動に努める。
- 図書館の利用促進については、各種のイベント等開催時期や内容等を検討し、更なる利用促進に努める。

〔外部評価委員の意見〕

- 文化祭事業については、出品数を増やす為、作品募集の広報について考え、できるだけ多くの方に出品いただけるよう工夫してもらいたい。
- 出品者の高齢化により、作品を会場まで持ってくるのが、難しいとの声があるので、そのような方にも出品できるよう配慮してもらいたい。
- 企画展開催事業については、より多くの参加をいただくためにも、市民のニーズに対応したテーマの実施や内容の更なる充実を図ってもらいたい。

(4) 人権尊重の推進

〔基本方針〕

重要課題である同和問題はもとより、女性、子ども、高齢者、障害者などあらゆる人権問題の解決に向け、住民に対する人権意識の高揚に努める。

〔平成23年度の主な取組状況〕

- 人権啓発活動地方委託事業については、人権尊重思想の普及・高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めるため開催した。
- 保護者学級開設事業については、小学校の保護者を対象に、人権問題に関する認識と、人権教育を推進し、家庭や地域が果たす役割について、正しい認識をもつため、開催した。
18講座で、参加人数は、延べ1,305名

〔総合評価〕

- ◎ 人権尊重の推進については、2事業の評価を実施し、総合評価は全て「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。
- 人権問題に関する正しい認識と家庭や地域での果たす役割について、理解を得ることに努める。

〔外部評価委員の意見〕

- 人権啓発活動地方委託事業については、より多くの市民に参加いただくため、講演会開催の広報に努め、関係団体はもとより、幅広く参加を呼びかけてもらいたい。

以上、第2次岩出市長期総合計画の施策に基づき、教育委員会評価委員会が教育委員会2課の全般的な事務事業の評価点検を行った。

教育委員会は、多様化する住民ニーズへの対応や教育課題の解消に向け、この事務事業の点検・評価を次の施策に反映できるよう、各事業の経常経費の削減や各種団体の補助金の見直しに取り組むとともに施設の改修や新規備品購入事業等については優先度や緊急度等を勘案し、引続き計画的に事業実施に努めていかなければならないと考えます。

平成23年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日)

教育総務課

| 番号 | 主要施策名 | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業概要 | 総合評価 | | |
|----|---------|-------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | 評価 | 今後の方向性 | 評価の理由、課題、今後の対応等 |
| 1 | 学校教育の充実 | いわでアスリートクラブ事業 | 陸上競技を通じて、児童・生徒の心身の健全育成を図る。 | 毎週土曜日の午前中に、中央小学校又は大宮総合運動公園を使用して、岩出市内の小学3年生から中学3年生を対象に、陸上競技活動を実施する。 | b | 継続 | 継続して参加している児童は、着実に陸上の競技力が身につく、心身ともに向上が見られ成果が上がっている。中学生は、部活動の練習と重なり参加者が少なく、見直しが必要である。また、指導者の確保にも努める。 |
| 2 | 〃 | 適応指導教室事業 | 心理的要因等により学校生活に適應できず登校できない児童及び生徒の在籍校への復帰を目的とする。 | 不登校児童・生徒に対し、在籍校への復帰や自立を図るための指導及び援助、不登校児童・生徒に対する教育相談、学校等関係機関との連携を行う。 | c | 継続 | 不登校児童・生徒に対し、入室者が4名と少数である。今後は、学校、家庭及びスクールカウンセラーとの連携を更に強化し、入室困難な児童・生徒に対しては、家庭訪問等を通じて、在籍校復帰に向け本教室の促進することが必要。 |
| 3 | 〃 | 小・中学校施設改修事業 | 施設の補修及び通学路の整備工事等により安心して学習できる環境整備や児童の安全確保を図る。 | 小・中学校の補修工事、環境整備工事及び通学路整備工事とそれに伴う設計監理業務委託ほか各種業務委託を実施する。 | a | 継続 | 各小・中学校の補修工事、環境整備工事(普通教室に扇風機を設置等)及び通学路の整備工事の実施により、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保が図られた。通学路の危険箇所については、教育委員会、学校、道路管理者及び警察と協議し、改善に努める。 |
| 4 | 〃 | 小・中学校学校図書システム整備事業 | 児童・生徒の読書環境の充実、強化を図る。 | 平成21年度から3箇年計画で全ての小・中学校に図書システムを整備する。平成23年度は、岩出小学校、上岩出小学校、根来小学校、岩出中学校及び岩出第二中学校に、それぞれパソコン1台、プリンタ1台、設置台、ソフト導入及びウイルス対策を実施する。 | b | 完了 | 導入後は、貸し出し、返却がスムーズになり、子どもたちに読書を促すことができた。 |
| 5 | 〃 | ブロック塀等耐震化補助事業 | 通学路に面したブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする通行人の安全を確保する。 | ブロック塀等の撤去、軽量塀等設置を補助する。ブロック塀等撤去件数1件、軽量塀等設置件数1件。 | c | 継続 | 児童・生徒の安全確保を図るため必要な事業であり、今後も地域住民に補助制度について周知に努める。 |

| 番号 | 主要施策名 | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業概要 | 総合評価 | | |
|----|---------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | 評価 | 今後の方向性 | 評価の理由、課題、今後の対応等 |
| 6 | 学校教育の充実 | 児童携帯用防犯ブザー補助事業 | 防犯ブザー購入費の一部を補助することにより、携帯率を高め、児童を犯罪から保護し、危険を防止する。 | 岩出市PTA連合会が防犯ブザーを購入する費用の1/2を補助する。ただし、児童・生徒1人につき1回限りとし、限度額400円。 | b | 継続 | 登下校における危険防止に効果を挙げており、今後も携帯率向上に努める。 |
| 7 | 〃 | 確かな学力育成のための実践研究事業 | 授業における実践研究を行うことにより、教員の資質向上を図り、児童の確かな学力を育成する。 | 山崎小学校を算数研究の拠点校として、岩出小学校を「言語活動の充実」研究の拠点校として、市内各小中学校と連携しながら、子どもの確かな学力を育成する。他の小学校4校については、それぞれの特色を生かした自主研究を実施する。 | b | 継続 | 各学校とも教員が意欲的に研究を推進し、その結果、子どもの意欲や態度に改善の兆しが見られるが、数値的な成果による検証が必要である。 |
| 8 | 〃 | 緑育推進「元気な森の子」事業 | 森林や林業の事を学び、また実際に体験することにより、森林の保全や森林を守り育てる意識を醸成する。 | 森林体験学習前に、事前に森林や林業の事を参考資料を用いて事前学習を行い、その後、森林に入り、実際に間伐作業や木材加工を体験する森林体験学習を行う。最後に、事後学習としてこれまでの学習を振り返り、森林の大切さや保全について学習する。 | b | 継続 | 自然と触れ合う機会が減少している現在の子どもたちにとっては、貴重な体験ができる事業であり、環境教育としての役割を果たした。今後、学習方法の創意工夫に努め、更なる効果の向上を図る。 |
| 9 | 〃 | 特別支援教育就学奨励費扶助事業(小・中学校) | 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を国の基準により支給し、もって特別支援教育の振興に資する。 | 学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒用品費、通学用品費に対する奨励費である。支給については、年3回(7月、12月、3月)支給する。 | b | 継続 | 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されることから、本事業の果たす役割は大きく、事業の継続が必要である。 |
| 10 | 〃 | 要保護、準要保護児童・生徒扶助事業(小・中学校) | 経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒に対し、就学の援助を行い、もって義務教育の円滑な実施に資する。 | 学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒用品費、通学用品費に対する奨励費である。支給については、年3回(7月、12月、3月)支給する。 | b | 継続 | 要保護・準要保護児童・生徒の保護者の経済的な負担が軽減されることから、本事業の果たす役割は大きく、事業の継続が必要である。 |

| 番号 | 主要施策名 | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業概要 | 総合評価 | | |
|----|-------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | 評価 | 今後の方向性 | 評価の理由、課題、今後の対応等 |
| 11 | 〃 | 和歌山を元気にする職場体験事業 | 職場体験事業を実施することにより、生徒に望ましい勤労観及び職業観を身に付けさせる。 | 各中学校において、事業所と連携し職場体験事業を実施することにより、生徒に望ましい勤労観及び職業観を身に付けさせる。 | b | 継続 | 中学生が職業について考えるのに大変有効であり、今後も必要な事業である。ただ、両校とも事業所の協力により無事職場体験が実施できたが、受け入れ事業数が減少してきている。今後も、紀の川市の中学校とも連携し、情報交換を行っていく必要がある。 |
| 12 | 〃 | 中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業 | 中学生の危機意識を高めるとともに、災害時の地域防災活動において中心的な役割を担うことを意識づけるために防災訓練を実施する。 | 防災訓練は、夏休みの土・日曜日に、各中学校を会場に3年生を対象として実施する。防災ジュニアリーダー育成事業は、夏休みの2日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署を会場に、中学生を対象に実施する。また、岩出市地域防災訓練にも参加する。 | b | 継続 | 授業の一環としての防災訓練を実施することができた。今後も、こうした訓練を一層充実させ、中学生の防災意識の高揚を図り、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成に努める。 |
| 13 | 〃 | 私立幼稚園就園奨励費補助事業 | 家庭の所得状況に応じ、保護者の経済的負担の軽減及び公・私立幼稚園間の保護者負担の較差是正を図ることを目的とし、国の幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、私立幼稚園の設置者が、保育料及び入園料の減額、免除を行う場合に対し、市が交付を行う。 | 私立幼稚園に在園する本市に住所を有する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の岩出市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に該当した保護者に対し、設置者が保育料を減免する場合に、当該設置者に対し、補助を行う。 | b | 継続 | 保護者の経済的な負担を軽減するため、私立幼稚園に対する補助事業であり、今後も継続実施に努める。 |
| 14 | 〃 | 学校給食運営事業 | 児童・生徒に栄養バランスの取れた安全な給食を提供し、心身の健全な育成を図るとともに、円滑な学校給食運営を推進するため、給食費の完全徴収に取り組む。 | 地産地消の推進を図り、献立の工夫改善に取り組む。また、給食費について、学校と連携を図るとともに、支払督促申立による債権差押により徴収率の向上に取り組む。 | b | 継続 | 学校給食は、バランスの取れた内容となっている。今後も、地産地消の推進と安全な給食の提供を図るとともに、円滑な給食運営を推進するため、支払督促申立による債権差押や学校との連携を一層強化し、子ども手当からの徴収を行い徴収率の向上に努める。また、給食残渣の処理について、環境面からゴミ減量化に向け取り組む必要がある。 |

平成23年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日)

教育総務課

| 番号 | 主要施策名 | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業概要 | 総合評価 | | |
|----|----------|-------------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | 評価 | 今後の方向性 | 評価の理由、課題、今後の対応等 |
| 15 | 子育て環境の充実 | 放課後児童健全育成事業 | 放課後又は夏休み等の長期休暇中に家庭において保育することが困難と認められる小学校に就学している児童を対象に、適切な遊び及び生活の場を提供する。 | 小学校に就学する1年生～3年生までの児童で、保育が困難と認められる者に対して、児童の健全育成を図る。社団法人シルバー人材センターに委託し、市内6ヶ所(7教室)で実施している。実施時間は、学校開業日は、午後1時から午後7時まで、それ以外の日は、午前8時から午後7時まで開設。休日は日曜日、8月13日～16日、12月28日～1月5日。 | b | 継続 | 共働き家庭等の児童の放課後において、安全で安心した支援ができ、効果は大きかった。運営にあたっては、各学童保育所、学校(山崎北小学校を除く)、教育委員会の三者が2ヶ月に1度、協議をする機会を設けたことで、問題点や学童保育所、学校での児童の様子などを共有できることから、より円滑に運営することができた。 |
| 16 | 国際交流の推進 | 外国青年招致事業 | 生徒を対象に、外国語での授業を実施することにより、外国語教育の充実及び促進を図る。 | 外国の青年を英語指導助手として招致し、中学校で英語教育の授業を実施する。 | b | 継続 | 国際化が一層進展していく中、本事業は英語教育や国際理解の充実に大きな役割を果たすことから、今後も継続した実施が必要である。 |

平成23年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日)

生涯学習課

| 番号 | 主要施策名 | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業概要 | 総合評価 | | |
|----|----------|---------------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | 評価 | 今後の方向性 | 評価の理由、課題、今後の対応等 |
| 1 | 青少年の健全育成 | 青少年育成市民会議助成事業 | 青少年の健全育成の中心的役割を担う、青少年育成市民会議に係る活動費を助成し、家庭・学校・地域及び行政が連携し、青少年の健全育成を推進する。 | 人間関係の確立や仲間意識・地域連帯意識を醸成するため、家庭・学校・地域社会が一体となった「市民総ぐるみの運動」の推進に取り組んでいる。 【1】活力ある地域活動 【2】家庭教育支援活動 【3】意識啓発のための活動 【4】関係機関・諸団体との連携強化と情報収集 【5】子どもを守るための活動 | a | 継続 | その時々課題に対応した活動を実施しており、各事業における参加者も多く、効果が期待される。なお、地区育成会の活動の活性化を図るとともに、地区育成会の立ち上げを区・自治会等に働きかける。 |
| 2 | 〃 | 青少年センター運営事業 | 青少年の非行、被害防止、及び岩出市内の青少年を取り巻く環境浄化を目的に、補導活動、相談活動、広報活動を実施する。 | 非行の早期発見、早期指導、その他青少年の非行防止活動を行い、関係機関との連携を図る。 | b | 継続 | 補導委員や各種団体の協力のもと、街頭補導・街頭啓発等の実施により、非行防止への成果が十分に感じられた。今後も、警察等関係機関との連携により、青少年の非行防止活動に努める。 |
| 3 | 生涯学習の推進 | 放課後子ども教室推進事業 | 放課後に地域の方々の方々の参画を得て、スポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等を推進する。 | 安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動を推進する。 | b | 継続 | 住民の方々の協力を得て、各種の教室を開催し、多数の小学生が参加している。今後も、協力者の確保に努めるとともに、学校との連絡を密にし、進めていく。 |
| 4 | 〃 | 公民館事業 | 市民の高まる学習意欲に対応した公民館運営に努め、公民館の充実を図る。 | 市民一人ひとりが適切に学習できる“場”と“機会”の拡大を図り、あらゆる世代に親しまれる公民館活動を展開している。 | b | 継続 | 市主催の各種教室や文化協会の活動など住民ニーズに対応した運営に努めている。今後も、住民ニーズに対応した場と機会の確保に努める。 |

平成23年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日)

生涯学習課

| 番号 | 主要施策名 | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業概要 | 総合評価 | | |
|----|---------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | 評価 | 今後の方向性 | 評価の理由、課題、今後の対応等 |
| 5 | 生涯学習の推進 | 生涯学習振興事業 | より豊かに充実した生活を送るための生涯学習機会を提供する。 | 11月5日の文化祭の前夜祭として、生涯学習を考えるつどいコンサートを実施。 | b | 継続 | ピアノのソロやアンサンブルで奏でる音色を聴きながら、世代を超えて様々なことを感じ、学んでいただいた。今後もクラシックコンサートの催しの継続に努める。 |
| 6 | 〃 | 負担金・補助金事業 | 競技力の向上と育成、活動の活性化を図るため、スポーツ少年団・体育協会への補助金や県への負担金 | 市体育協会並びに市スポーツ少年団他4団体に対して補助する。 | b | 継続 | 各種補助金は、青少年の健全育成や生涯スポーツの振興などに成果をあげることができた。補助金等については、効果を鑑み、実績等精査する。 |
| 7 | 〃 | 市民運動会事業 | 市民へのスポーツ振興と、レクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係をはぐくむとともに明朗・活発な人間育成に資する事を目的とする。 | 10月10日の体育の日に運動会種目(22種目)並びにスポーツアトラクション(6か所)を実施。 | b | 継続 | 参加者数9,882名と、多くの市民が参加して健康増進を図り、市民相互のふれあいと交流を深める絶好の機会を提供することが出来た。 |
| 8 | 〃 | 岩出マラソン大会実行委員会助成事業 | 市民及び参加者に、健康と体力づくりをするための生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広く周知することを目的とする。 | 一般15キロの部(予定人数600名)、一般5キロの部(予定人数400名)、小学生3キロの部(予定人数600名)、ファミリー2キロの部(予定人数900名) 会場並びにコース:根来若もの広場(広域農道スタート～若もの広場ゴール) 平成24年3月11日(日)開催 | a | 継続 | 県外からの参加者も多く、岩出市を広くPRすることができた。また、参加者間の交流により、互いにふれあうことが出来、有意義な大会であった。参加申込が計画以上の人数(2,793名)であり、会場並びにコースの安全確保と、スムーズな大会運営に努める。 |
| 9 | 〃 | スポーツ教室事業 | 市民のスポーツ振興を図り、健康で明るいまちづくりを推進する。 | 親子体操教室・ヨガ教室・エアロビクス教室を実施。 | b | 継続 | 毎年、内容に工夫し楽しく参加できるよう取り組み、市民の健康維持増進に貢献した。親子体操教室は、3歳児同士や親たちの交流につながり、楽しく運動することができた。市民のニーズにあった教室の開催を目指す。 |

平成23年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日)

生涯学習課

| 番号 | 主要施策名 | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業概要 | 総合評価 | | |
|----|----------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | 評価 | 今後の方向性 | 評価の理由、課題、今後の対応等 |
| 10 | 生涯学習の推進 | 大会等選手派遣補助事業 | スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に必要な経費の一部を補助することを目的とする。 | 市スポーツ少年団及び市体育協会に属する者が大会に出場する場合の経費の一部を補助する。 | a | 継続 | 本年度は全国大会10件、近畿大会6件、県大会11件 計27件の派遣補助を行い、スポーツの振興が図れた。大会補助要綱の見直しにより対象経費は減額となったが、制度の趣旨が十分に反映できている。 |
| 11 | 〃 | 図書館運営事業 | 市民が身近にあって、いつでも、どこでも、だれにでも図書館サービスが受けられるように、岩出図書館と分館・分室のネットワークにより、地域密着型の図書館運営を図る。 | 市民の学びの場、ふれあいの場として利用しやすい環境づくりを推進するために、幼児から高齢者まで幅広い学習要求に応えられるよう資料等の整備に努め、岩出市広報誌やホームページ等を活用して図書館の各種案内等の情報発信を行います。 また、DVD上映会、おはなし会、各種体験教室、講演会等の開催を実施し、図書館の利用を促進する。 | b | 継続 | 定例のおはなし会、DVD上映会、イベント等を開催していますが、一般向けのイベントの参加者が少ない。 今後は、催しの開催時期や開催内容等検討し利用促進を図り、市民のニーズの多様化に伴う、一層の図書館の充実に努める。 |
| 12 | 〃 | 図書購入事業 | 図書館の役割は、学習や交流の場として生涯学習の推進に大きな役割を果たす地域情報の拠点であり、様々な資料や情報提供をするとともに、利用者の要望に応じて地域密着型の図書館運営を図る。 | 地域密着型図書館として、愛され親しまれ、幼児から高齢者の幅広い要望から、各分野に亘って広く購入し、図書資料の充実を図る。 | a | 継続 | 一般図書10,520冊、児童図書4,852冊、参考図書353冊、視聴覚資料DVD100枚、CD100枚、複製画2点を購入し、図書資料の充実を図った。今後も利用者の幅広いニーズに対応し、参考書や郷土資料など図書の収集に努め、図書の充実を図る。 |
| 13 | 文化・芸術の振興 | 文化祭事業 | 市民文化の一層の発展と充実を図るため、文化活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興と普及を図るとともに参加を通じて薫り高い文化への理解を深め、心がふれあう活力あふれるまちづくりを推進する。 | 日時:平成23年11月5日(土)～6日(日) 場所:市民総合体育館ほか 内容:(テーマ つなごう 人の輪 文化の和) ○作品展示 ○芸能発表 ○各種イベントコーナー | c | 継続 | 入場者が19,371名と前年度に比べ、1,877名の減となったが、市民相互のふれあいと交流が図られた。今後も、多くの作品の出展がいただけるよう、文化協会等に協力を求めるとともに、広報を工夫し周知に努める。 |

| 番号 | 主要施策名 | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業概要 | 総合評価 | | |
|----|----------|----------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | 評価 | 今後の方向性 | 評価の理由、課題、今後の対応等 |
| 14 | 文化・芸術の振興 | 企画展開催事業 | 市民に歴史・文化に関心と理解を深めていただくことを目的とする。 | 「根来寺遺跡出土の茶道具拝見」をテーマに企画展を11月3日(木)から11月27日(日)までの23日間開催。 記念講演会「出土品から見た根来と堺の茶の湯」 11月13日(日)に講演会を開催。 講師 堺市博物館 續 伸一郎氏 | b | 継続 | 企画展開催中は、来館者にアンケートを実施し、企画展示の感想や今後の企画展示等へのニーズ等を把握することができた。 企画展開催期間の入館者数:7,016人(1日平均 318人) 講演会参加者数:50名 企画展開催中は、できるだけ多くの市民の方々に来館いただくため、関係機関及び市の文化協会加盟団体等への働きかけのほか、市の広報やホームページの活用等、啓発活動に今後とも努めていく。 |
| 15 | 〃 | 民俗資料館体験学習事業 | 歴史・文化について、市民の学習ニーズに応えるとともに、次代を担う小・中学生に市の歴史・文化に関心や理解を深め、より一層の郷土愛を養う。 | 小中学生歴史ウォーク&自然観察体験 日時:7月31日(日) 午前8時30分～ 場所:根来寺大門周辺から円明寺周辺 歴史講座 第1回:6月26日(日)午後1時30分～ テーマ:平家物語と琵琶法師 第2回:2月5日(日) 午後1時30分～ テーマ:岩出のなりたち | b | 継続 | ○小・中学生歴史ウォーク&自然観察体験学習 児童・生徒23名、保護者18名、計41名の参加を得た。 ○歴史講座 ・第1回 参加者数:101人 ・第2回 参加者数:82人 今後も多くの方に参加いただくため、学習内容や方法等について、アンケートの結果を参考に工夫・改善に努める。 |
| 16 | 〃 | 国史跡保存管理計画等策定事業 | 国史跡根来寺境内の今後の適正な保存管理計画を策定することを目的に、策定委員会を設置し委員会の審議を経つつ報告書を作成する。 | 平成23・24年度の2ヶ年事業として実施する。平成23年度は、現況地図と史跡指定地周辺の現地調査を業務委託し実施した。 | b | 継続 | 平成23・24年度の2ヶ年事業として実施する。平成23年度は、現況地図と史跡指定地周辺の現地調査を業務委託し実施した。また、策定委員会を2回開催し、保存管理計画の策定についての検討を行うことができた。 |
| 17 | 人権尊重の推進 | 人権啓発活動地方委託事業 | 人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資すること。 | 図書館主催事業の1つとして人権啓発講座を開催し、多数の市民が参加することにより、人権意識の向上を図る。 また、講師の著書や人権に関する図書を特別展示し、利用促進にも繋げる。 | b | 継続 | チラシ・パンフレットを配布し、アンケートの実施(76名)を行った結果、講演会による人権問題への関心・理解では「深まった(すこし・おおいに)」の人が約88%となっており、人権啓発に繋がった。 市の人権啓発事業を知らない人が約49%あり、今後どのようにして人権啓発について知ってもらおうかが課題。 |

平成23年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日)

生涯学習課

| 番号 | 主要施策名 | 事務事業名 | 事業の目的 | 事業概要 | 総合評価 | | |
|----|---------|-----------|------------------|----------------------------------|------|--------|---------------------------------------------------|
| | | | | | 評価 | 今後の方向性 | 評価の理由、課題、今後の対応等 |
| 18 | 人権尊重の推進 | 保護者学級開設事業 | 児童保護者に対する人権学習の推進 | 小学校6校で保護者を対象に1回2時間の講座を年間3～4講座開催。 | b | 継続 | 人権問題に対する正しい認識を広めることができた。今後も多くの保護者の方に参加してもらえよう努める。 |